

皆様おはようございます。いよいよ梅雨も明け夏本番が来ようとしています
が、相変わらず雨が降って警報が出たりと、不安定な時もあります。
ぜひ体調管理にお気をつけください。水分補給に努めていただきたいと思います
です。

さてペテロの説教が続いているこの箇所です。先週のところでペテロは堂々
と、「イエスの名がこの人を強くしました、その名を信じる信仰によってイエ
スによる信仰があなたがた一同の前でこの人を完全に癒したのです」と語りま
した。そして聞いている人たちを兄弟たちと親しく呼び、あんなことをしてし
まったのは指導者たちと同様、民も無知であったゆえであったと語ります。
しかし神様はその人の無知のゆえの罪のために、神様を拒絶するその罪のため
に、預言者が語った通りにメシアの苦しみをもって、贖いをもって赦してくだ
さったと語りました。そうであるから自分の罪が消し去られるように悔い改
め、方向転換し立ち返りなさいと語りました。そうすれば主のもとから慰めの
時が訪れると語りました。

モーセが遣わされたように、そのエジプトの奴隷状態の中から助け出されたよ
うに、それにも増して罪の中から、死から、呪いからイエス様は私たちを助け
出してくださいました。そしてペテロは今エルサレムの神殿で話を聞いている
イスラエルの人たちにこう語りました。あなた方預言者の子孫であると。

25節、あなたがたは預言者の子孫であり、神があなたがたの先祖と結ばれた
契約の子です。『地上のすべての民族は、あなたから生まれる者によって祝福
を受ける』と、神はアブラハムに言われました。

3:26 それで、神は御自分の僕を立て、まず、あなたがたのもとに遣わしてく
ださったのです。それは、あなたがた一人一人を悪から離れさせ、その祝福に
あずからせるためでした。」

神はご自分の僕を立て、イエス様を立てて、あなたのもとにまず最初に、第一
に、先んじて、1番大事なこととして、イエス様をその救いのために遣わして
下さったんだから、ひとりひとりを悪から離れさせその祝福にあずからせるた
めに遣わして下さったのだから、心を頑にししないで信じなさいと語りまし
た。信じて悪から離れ、祝福にあずかり、預言者の子孫として、地上のすべて
の民族のための祝福となりなさいと神様はご自分の民に命じられたのです。

4:1 ペトロとヨハネが民衆に話をしていると、祭司たち、神殿守衛長、サドカ
イ派の人々が近づいて来た。

4:2 二人が民衆に教え、イエスに起こった死者の中からの復活を宣べ伝えて
いるので、彼らはいらだち、

4:3 二人を捕らえて翌日まで牢に入れた。既に日暮れだったからである。

ペテロとヨハネがこのように民衆に話していますと、祭司たち、神殿守衛長、サドカイ派の人々が近づき、二人が民衆に教え、イエスに起こった死者の中からの復活を宣べ伝えているので、彼らはいらだち、非常に悩ましく思いました。そして彼らをとらえて拘留しましたが、しかし彼らの語った言葉を聞いて信じた人は、男の数だけで5000人ほどになったと聖書には書いてあります。イエス様にあつて神様は大きなことをしてください。私たちに与えられるイエスキリストと言う御名はなんと力強いものでしょうか。それは臭い物に蓋をしてそして人に知らせないようにしようする悪の企ての中にあつても光輝き続ける神の救いの御名であると言うことを私たちは知らなければなりません。その輝ける御名を私たちはどのように証しするのでしょうか。民の支配者たちが非常に苛立って、相手を怒らせるように思い、逮捕され、悪者との烙印を押されてもなお、私たちはひるまずに、この御名こそが私たちにとっての輝ける救いの御名であり、神様の救いと力を得る道、私たちにとっての確かなる救いの御名であると言うことをしっかり私たちは心に刻んでおきたいと思ひます。逮捕され、拘留された次の日、議員、長老、律法学者たちがエルサレムに集まった。

4:6 大祭司アンナスとカイアファとヨハネとアレクサンドロと大祭司一族が集まった。

4:7 そして、使徒たちを真ん中に立たせて、「お前たちは何の權威によって、だれの名によってああいうことをしたのか」と尋問した。ペテロたちはどのように答えたのでしょうか。その時ペテロは聖霊に満たされていました。

「民の議員、また長老の方々、

4:9 今日わたしたちが取り調べを受けているのは、病人に対する善い行いと、その人が何によっていやされたかということについてであるならば、

4:10 あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。この人が良くなって、皆さんの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。

4:11 この方こそ、／『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、／隅の親石となった石』／です。

4:12 ほかのだれによつても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」彼は大胆に語りました。この今真ん中に立たされそして責められ尋問されている事は病人に対する良い行いのゆえだった。神様の救いの御名を心から信じて

良い行いのゆえに迫害され、人々が白目をむいて敵対する、その人々の中に置かれると言うことがあるのだと言うことを私たちは聖書から知ります。

信仰のうちにあつて、イエス・キリストの御名によって、自分がイエスキリストのことを深く信じて、そしてそのイエスキリストのことをお伝えするときに、人々が生き生きと立ち上がって元気になって行きます。そう信じきってそして私たちがイエス様のことを話しするときに神様は私たちの前にいる方々に御業を現してくださいます。そうしてイエス様の御名があがめられる時、しかし苛立って、そして私たちを責めその私たちの良き業をやめさせよう、癒しの業をやめさせようとして、そして私たちを責め、尋問し、何の権限によってそんな大それたことを、生意気に、身の程を知らずにと、窮地に追いやろうとする勢力があるのだと言うことを私たちは知っています。

病に対する良い行いがそこにはあり、喜びにあふれる人を目の前にして、その人は何によって癒されたかと言うこと真実を知ろうとはせず、ただただそれを隠蔽し、なきものにし、そのような光の行いが現れないようにし、暗闇の中に閉じ込めようとする勢力があるということを私たちは知らなければなりません。

4:10 あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。この人が良くなって、皆さんの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。

この人がよくなって皆さんの前で立っているのは、あなた方が十字架につけて殺し、しかし神が死者の中から復活させられたイエス・キリストの名によるものです。その名がいい加減な名前であつたら、権限の何もない空っぽの名前であつたならば、そんな名を唱えたところで何も起こらないでしょう。しかし、その名は、人が罪のゆえにこのキリストを十字架にかけて殺しましたが、しかし他ならない、神ご自身が死者の中から復活させられたイエス・キリストの名前であり、その名を唱える者には神様がイエス様を死者の中から復活させたように、大きな力が働くということをペテロは証しました。

そして、神様がこのイエス様を復活させられたその道からと御業に抗うものは誰か。人は罪深い心の内にイエス様を受け入れず、そのうちに働く神様の力をも信じず、十字架につけてしまったが、そのイエス様を死者の中から復活させた方の御力によってあの美しの門にいた人は立ち上がったということをまた尚も認めないのかと、鋭くペテロは語ります。

11 この方こそ、／『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、／隅の親石となった石』／です。

この方こそあなた方家を建てる者に捨てられたが隅の親石となった石だと語ります。家を建てるものがこんな石は要らないと言って捨てました。しかしその石は貴重な貴重な平らで大きい石であり、角の礎石となり、他ならない貴重なコーナーストーンそれはメインの主たる礎石となるべき、建物の1丁目1番地となるべき、そこから全てが始められ、建物の石が積み上げられ、組み合わせられるという、隅の親石であったのです。そんなことも知らないでその大切な石を捨てるところの家を建てる人たちはなんと愚かな事でしょうか。しかし人に捨てられても、なお神様はこのイエス・キリストを復活させ隅の親石とされ、その上にすべての基礎となるべきものとなさいました。この神様が私たちにたまわった隅の親石を信じて、イエス・キリストを信じてこの方の上に人生を形作っていくとき、私たちの人生が見事に建て上げられていくことを私たちは知っております。

12 ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」

神様はこのイエス様を建物の基礎、大事な大事な親石とされました。

マタイ7章

7:24 「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。

7:25 雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。

7:26 わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。

7:27 雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」

7:28 イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに非常に驚いた。

7:29 彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。

イエス様をお送りになられた神様のみこころを信じて、イエス様が語られたことを大切にし、それを守るとき、私たちの人生は、揺れ動くことのない者となるということが聖書に示してあります。神様の元から神の子が、神ご自身が

人として遣わされ、人の罪の贖いのために十字架にかかって死なれ、そして復活して聖霊を送り、なお恵みをもって私たちの心の内に生きて語り続ける助けて、こういう方が、このように力強い救われるべき名前が、権限が、私たちに、ほかにどこにおいて得ることが出来るのでしょうか。

13 議員や他の者たちは、ペトロとヨハネの大胆な態度を見、しかも二人が無学な普通の人であることを知って驚き、また、イエスと一緒にいた者であるということも分かった。

ペテロらは大胆に語りました。実に大胆に、落ち着き払って自信に満ち、心を開いて堂々と、率直に語りました。その様子を見た人たちは、無学で普通の人なのになぜと驚きました。しかし、人々は、ペテロらはイエス様と一緒にいた者であるということを知っていました。

イエス様共にあるということの大きな意味が語られています。共にいて、共に住み、寝起きを共にして、教えを聞き、業を見て、息遣いを感じ、確信を得ました。

マタイ 11 章

11:28 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

11:29 わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。

11:30 わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

「私に学びなさい」と主は語られます。主が聖霊によって共にいて下さり、私たちも主からいつも学ぶのならば、私たちは力強い、大胆なものとなります。

ヨハネ 15 章

15:1 「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

15:2 わたしにつながっていながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。

15:3 わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。

15:4 わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていなければ、自分では実を結ぶことができない

ように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

4:14 しかし、足をいやしていただいた人がそばに立っているのを見ては、ひと言も言い返せなかった。

確かにこの人は、他ならない、イエス・キリストの力によって、他ならないその御名によって、この人は今元気になって立ち上がって共にいる。そのような証が私たちの周囲で起こるのです。私たちが本気になってイエス様を信じていくときに、そのようにして元気になって立ち上がる方々が私たちと共に進むようになるでしょう。他ならない神様のその御業をその方々は証ししてくださるわけです。私たち自身もかつてはまたそうでした。イエスキリストを知ることによって心の奥底から平安があり、そして知恵が与えられ愛が与えられ確信が与えられてイエス様と一緒にいる。そのことによって教えられ進む中であって私たちもまた元気にされ立ち上がって、それまでは知らなかったような神様の力によりすがって生きる人生が導かれているのです。

その一人ひとり私たちの感謝の証しとともにまた新しく導かれて神様と共にある方々が導かれ、ますます多くの方々と愛について平和について将来について希望について共に語り合い、そしてイエス様のお名前の力強さをかみしめ、イエス様のなされた事柄がどんなことであり、これからもどのように力強いことをしてくださるのかを私たちがはっきりと信じる時、「お前たちは何の権威によって、何の名によってそんな偉そうなことしてるんだ」とどんなに言われたとしても、非難されたとしても、私たちは見捨てられ捨て去られたとしても、神様が復活させられた、隅の親石とされた方が私たちと共にあり教えて下さいます。そうであるならば私たちは大胆に神様の力によって聖霊によって語らせていただき、行わせていただき、そこに神様の御業が現れるのを見て励まされるのです。そのようにして神様の助けをいただきながら大胆に、喜びをもって今週も生きていくことができるのですから、神様の御業を拝することができるということを信じて今週も導かれて大胆に証しをさせて頂きたいと願うものです。